



2025年12月8日

各 位

会 社 名 株式会社ソリトンシステムズ
代表者名 代表取締役社長 鎌田 理
(コード番号： 3040 東証プライム)
執行役員経営管理部長 三須 貴夫
(TEL. : 03-5360-3801)

2025年12月期業績予想（上方）および期末配当予想（増配）の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年2月14日に公表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。なお、個別業績予想につきましては、2025年2月14日の「2024年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表時点で非公表としておりましたが、今般、前期実績値との対比で、適時開示の基準を上回る見込みとなりましたので公表いたします。また、それとともに、期末配当予想を修正することを下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2025年12月期の連結業績予想の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益（円）
前回発表予想(A)	19,500	2,200	2,200	1,750	94.41
今回修正予想(B)	19,760	2,800	2,870	2,100	113.28
増減額（B-A）	260	600	670	350	
増減率（%）	1.3	27.3	30.5	20.0	
（ご参考）前期実績（2024年12月期）	18,606	2,043	2,156	1,725	93.11

(2) 2025年12月期の個別業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益（円）
前回発表予想(A)	—	—	—	—
今回発表予想(B)	19,340	2,880	2,030	109.5
増減額（B-A）	—	—	—	
増減率（%）	—	—	—	
（ご参考）前期実績（2024年12月期）	17,842	2,197	1,627	87.83

2. 理由

(1) 2025年12月期の連結業績予想の修正の理由

主力のITセキュリティ事業で、年商約5億円のソリトン上海が連結範囲外となりましたが、防衛や防災分野での大型案件の獲得や校務DXに関する文教分野の販売拡大で、売上高は期初予想1.3%の増収の見込みです。また、粗利率の高い自社製品/サービスの販売が好調に推移し営業利益率が前期：11.0%から当期予想：14.2%に改善、営業利益は期初予想27.3%の増益見込みです。さらに、為替差益、受取利息等の計上で経常利益は期初予想30.5%の増益見込みで、これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想を20.0%上回る見込みです。

サイバーセキュリティは、国家の安全保障や企業の信用に直結する重要課題となっています。政府はサイバー安全保障の強化に向けた取り組みを加速しており、企業もセキュリティを単なるコストから、事業継続と信頼性を支える戦略的投資へ再定義を進めています。当社は国産サイバーセキュリティベンダーとして、こうした市場ニーズに応える高品質な自社製品/サービスを提供し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

(2) 2025年12月期の個別業績予想について

個別業績予想は、経常利益が前期実績値との対比で31.1%増を見込むことになり、適時開示の基準を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり公表いたします。

3. 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 26.00	円 銭 52.00
今回修正予想	—	—	—	28.00	54.00
当期実績	—	26.00	—		
前期（2024年12月期）実績	—	13.00	—	39.00	52.00

（修正の理由）

当社は、利益分配につき、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とし、配当については、配当性向（連結）50.0%程度、もしくは株主資本配当率（連結）8.0%程度を目安としております。

前述の業績予想を修正したことを踏まえ、2025年12月期の期末配当金につき、1株当たり2.00円増配し、28.00円とすることといたしました。これに伴い、年間配当予想を52.00円から54.00円に修正いたします。当該増配により、2025年12月期の配当性向（連結）は47.7%（2024年12月期：55.8%）、株主資本配当率（連結）は7.7%（2024年12月期：8.1%）の見込みになります。

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上